

TA-208 (DX仕様)

取扱説明書

技術基準適合認定品

このたびは、『TA-208 (DX仕様)』をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。本品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

[TTE17084-11]

目次

1. ご使用になる前に	2
2. 各部のなまえはたらき	3
3. 基本的な使いかた (外線1、内線1~7でご使用のとき)	4
4. その他の使いかた	7
5. NTTのダイヤルインサービスで お使い頂く場合	8
6. その他の機能について	9
7. システムスイッチの設定方法	10
8. システムデータの登録方法	14
9. 工事上の注意について	17
10. NTTへの届け出について	17
11. 困ったときのチェックポイント	18
■ 仕様	19
■ 添付品について	19
■ アフターサービスについて	19

1. ご使用になる前に

■ 停電したとき

停電したときは、この装置の機能はご利用頂けません。

- 通常着信または自動着信でご使用の場合
外線1は内線1番、外線2は内線5番の電話機で外からの電話を受けたり、外へ電話をかけることができます。
- ダイヤルインサービスでご使用の場合
外線1は内線1番、外線2は内線5番の電話機で外へかけることはできますが、外からの電話は受けることはできません。【⇒P18参照】

■ お使いになるときのご注意

● 自動着信でご使用のときは、こちらが電話に出なくても、相手側には電話料金がかかります。

- 濡れた手でさわらないでください。
- ショックを与えないでください。
- 分解しないでください。
- 電源コードの扱いに気をつけてください。
- 高温、直射日光の当たる場所には、置かないでください。
- 湿気が多い場所には、置かないでください。
- 家電製品等の近くでの使用は避けてください。
- 屋外や温度が低くなる場所は避けてください。

■ 日頃のお手入れ

- アルコールやベンジン等でふかないでください。

■ コードレスホンをご使用のとき

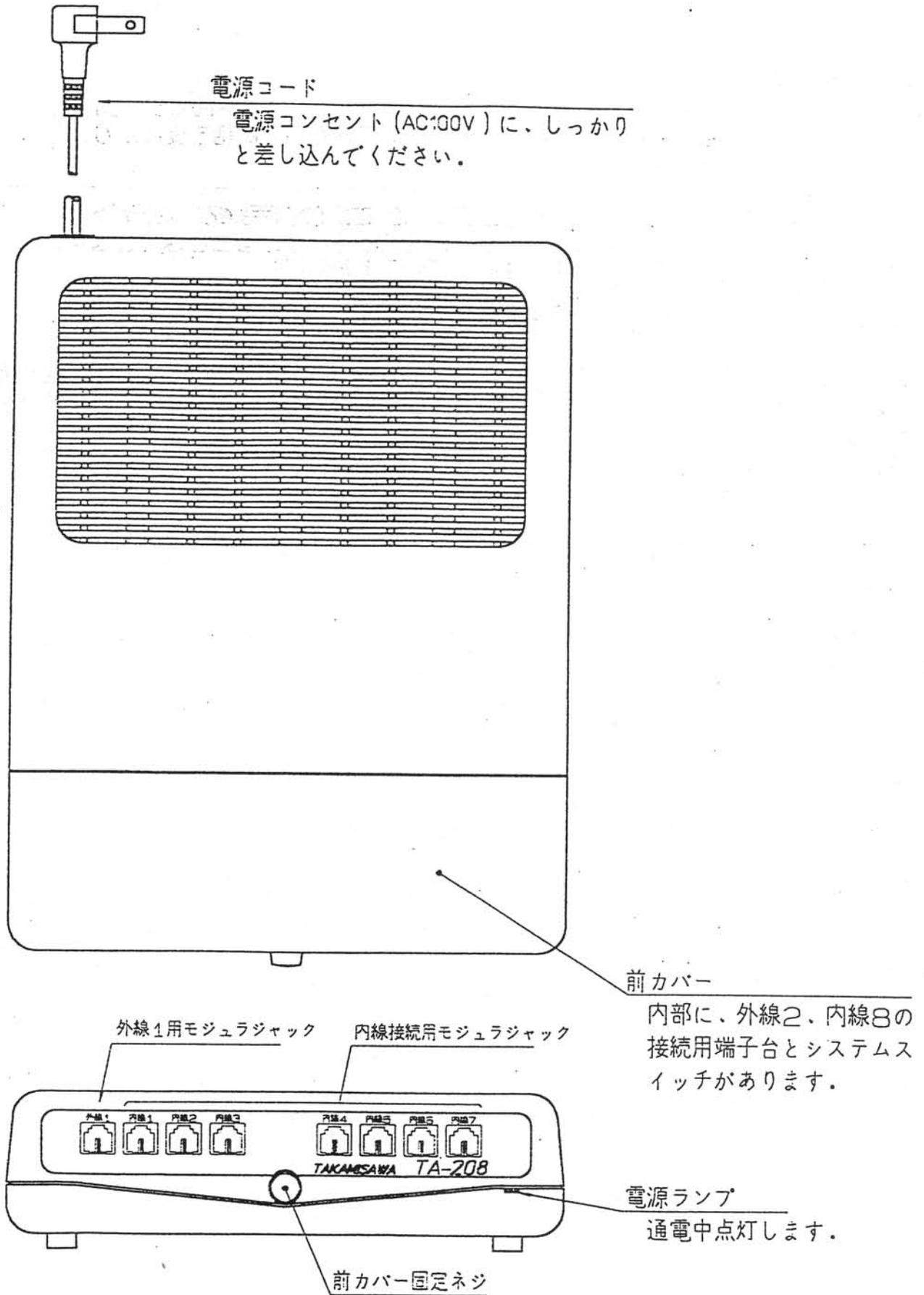
本装置の近くにコードレスホンの主装置または親機を設置すると、電話がつながらなかったり、通話に雑音が入ったりすることがありますのでご注意ください。

■ 取付け

ピンク電話回線にはご使用出来ません。

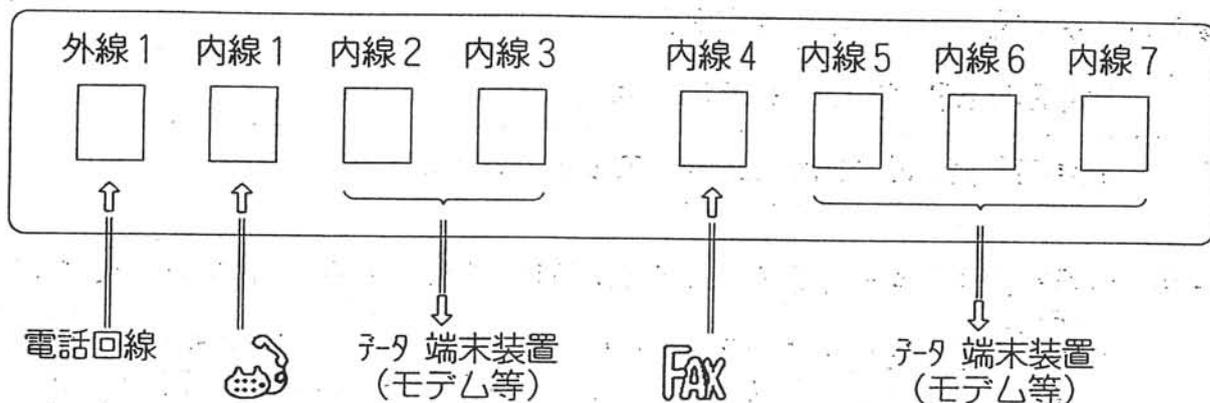
ピンク電話、公衆電話、共同電話、地域集団電話等にはご使用になれません。そのほか、わからないことがありましたら、最寄りの当社販売店〈工事担任者〉にご相談ください。
取付けは、お買上げの販売店〈工事担任者〉にご相談ください。（工事は有料です）

2. 各部のなまえとはたらき



3. 基本的な使いかた (外線1、内線1~7でご使用のとき)

■電話回線および端末装置（電話機、FAX、モデム等）を接続します。



●電話回線及び電話機、FAX、データ端末装置（モデム等）を『TA-208』に接続してください。

●外線のダイヤル種別（PB/DP）を必ず設定してください。

プッシュ回線（PB）⇒ システムスイッチ SW1-2をON（初期設定）

ダイヤル回線（DP）⇒ システムスイッチ SW1-2をOFF

【⇒P10 参照】

(1) 外へ電話をかけるとき (外線発信)

1	受話器を上げます。 「ツーン…」という発信音が聞こえます。
2	相手の電話番号をダイヤルします。 相手を呼んでいる音が聞こえます。
3	相手がでたらお話してください。

[注意] ☆データ端末装置が使用中のときは、電話は使用できません。
☆電話番号をダイヤルするときに、3桁返は続けてダイヤルしてください。
ダイヤルの桁間が3秒以上開きますと、内線を出して外線にはかかりません。

(2) 外から電話がかかってきたとき (外線着信)

■電話がかかってくると、『T A - 2 0 8』が自動応答し相手に対して「ブルルル、ブルルル…」という呼出音を出します。約5秒後に内線1番を呼び出します。

●内線1番の電話機のベルが鳴ります。

1	受話器を上げます。
2	相手とお話してください。

[注意] ☆最初に『T A - 2 0 8』が自動応答した時に、相手側には電話料金がかかります。

☆内線1番の電話機で約30秒以内に応答しないと回線を強制切断します。
強制切断時間は、システムデータで「45秒」「60秒」に変更できます。

【⇒P15NO.1 参照】

(3) F A X を設置するとき (F A X 接続)

■F A X を設置する場合は、必ず内線4番に接続してください。

■システムスイッチのSW1-7をOFFにしてください。

【⇒P10 参照】

■F A X は「自動受信」にしてください。

■自動F A X から受信したとき (C N G 信号のF A X)

●外からの着信に自動応答し、F A X のC N G 信号 (ピー音) を受けると、自動的にF A X に接続します。

■手動F A X から受信したとき (C N G 信号が出なかったとき)

●手動F A X からかかってくると、内線1番のベルが鳴ります。

1	受話器を上げます。 F A X 着信とわかったら
2	電話機でフッキングをします。 「ブブブ…」という内線発信音が聞こえます。 ☆ダイヤル式 (D P) 電話機の場合は、この操作を省略できます。
3	内線発信音が聞こえている間に 「4」をダイヤルします。
4	受話器をおろします。

●F A X に転送されます。

(4) データ端末装置 (モデム) について

■外へかけるとき (外線発信)

- 通常通りに発信できます。

〔注意〕 ☆電話機又は他のデータ端末装置が使用中のときは使用できません。

■データ端末装置へのアクセス方法 (外線指定着信)

- 電話がかかってくると、『T A-208』が自動応答し相手に対して「プルルル、プルルル…」という呼出音を出します。応答してから約5秒間に指定のPB信号が来れば、該当の内線呼び出します。

- 受信したPB信号と呼び出す内線の関係は下表の通りです。
尚、PB信号はシステムスイッチSW1-8のON、OFFで選択できます。
(初期状態は、ONです。) 【⇒P10 参照】

SW1-8	内線1	内線2	内線3	内線4	内線5	内線6	内線7	内線8
ON	1#	2#	3#	4#	5#	6#	7#	8#
OFF	#11	#22	#33	#44	#55	#66	#77	#88

最終ページの「お詫びと訂正」をご覧ください。

〔利外〕 ☆受信するPB信号は、内線毎に1~4桁の範囲で任意にシステムデータで変更することもできます。 【⇒P15NO.3 参照】

■ホストコンピュータからの自動アクセス方法

- ATコマンドでの設定例 (SW1-8がONの時)

A T D 1 2 3 4 - 5 6 7 8 , , , , T 2 # 2 # 2 # 2 # 2 # 2 #
① ② ③ ④

- ①電話番号
- ②ポーズのパラメータ
- ③PB信号交換のパラメータ (ホストがPB回線の時は必要ありません)
- ④内線2番のデータ端末をアクセスする場合

〔利外〕 ☆ポーズパラメータ「,」の数を調整して、『T A-208』が自動応答するまでの時間を決めます。
回線の状態によっても異なりますが、一般的には5秒~7秒ぐらいです。

〔注意〕 ☆内線を指定するPB信号を任意に変更したときは、連続では使用できませんので、初期状態でご使用ください。

(例) 内線2番の指定番号を「2」に変更した時に、ホストに「22222」という設定をしても内線2番を指定することはできません。

4. その他の使いかた

(1) 内線にすべてデータ端末装置を接続するとき

- 内線1番から内線7番まで全てにデータ端末を接続した時は、必ずシステムスイッチ SW2-1、SW3-1をOFFにして内線1番の外線着信のベルを停止してください。
【⇒P11 参照】

(2) FAXとデータ端末装置を接続するとき

- FAXは内線1番、データ端末は内線2～7番に接続します。

〔注意〕 ☆この時は、システムスイッチのSW1-7をOFFにしないでください。
SW1-7をOFFにして「FAX有」に設定すると、相手FAXのCNG信号を検出すると内線4番を呼び出してしまい、内線1番を呼び出しません。
☆電話機と兼用しているFAXもこの使い方です。

(3) 電話機を2台以上接続するとき

- 内線2番～8番に電話機を接続した時は、システムスイッチSW2-2～8、SW3-2～8の該当スイッチをONにして外線着信のベルを鳴動させてください。
【⇒P11 参照】
- 外との通話を他内線にまわすことができます。(転送)

1	通話中にフッキングをします。 「ブブ…」という内線発信音が聞こえます。
2	転送先の内線番号をダイヤルします。 相手を呼んでいる音が聞こえます。
3	転送先の人が出たら、電話を交わることを連絡します。
4	受話器をおろします。

(4) 外線2、内線8番を使うとき

- 外線2と内線8番は、前カバーを開けて端子台に接続して使用します。
【⇒P13 参照】

- 外線2を使用する時は、外線のダイヤル種別(PB/DP)を必ず設定してください。
プッシュ回線(PB) ⇒ システムスイッチ SW1-3をON(初期設定)
ダイヤル回線(DP) ⇒ システムスイッチ SW1-3をOFF

【⇒P10 参照】

5. NTTのダイヤルサービスでお使い頂く場合

(1) NTTへの手続き

- ダイヤルサービスを受けるには、NTTとの契約が必要ですので、NTTへお申込みください。また、NTTの送出桁数は4桁でお申込みください。

〔注意〕 ☆地域によっては、ダイヤルサービスを受けられない場所がありますので必ずNTTに確認してください。

☆ダイヤル回線をご利用の場合は、キャッチホン、トリオホン、転送電話等のサービスをご利用になれません。詳しくはNTTにお尋ねください。

☆ダイヤルサービスを契約すると、工事費と毎月の使用料がかかります。

(2) 登録方法

- システムデータで「ダイヤル有り」に登録してください。【⇒P 15 NO.2参照】

外線1を「ダイヤル有り」⇒ システムデータ番号『73』

外線2を「ダイヤル有り」⇒ システムデータ番号『75』

- 電話番号の下4桁をシステムデータで登録します。【⇒P 15 NO.3参照】

システムデータ番号『5』『内線番号』『下4桁の番号』

(例) 内線1番を 03-1234-5678 にしたい時

⇒ システムデータ番号『5』『1』『5678』

内線7番を 03-8765-4321 にしたい時

⇒ システムデータ番号『5』『7』『4321』

- 外線のダイヤル種別 (PB/DP) を必ず設定してください。

〔外線1〕

プッシュ回線 (PB) ⇒ システムスイッチ SW1-2をON (初期設定)

ダイヤル回線 (DP) ⇒ システムスイッチ SW1-2をOFF

〔外線2〕

プッシュ回線 (PB) ⇒ システムスイッチ SW1-3をON (初期設定)

ダイヤル回線 (DP) ⇒ システムスイッチ SW1-3をOFF

〔注意〕 ☆システムスイッチSW1-5、6は必ずOFFの「自動着信」にしてください。

【⇒P 10参照】

(3) 操作方法

- 外線発信の操作方法は、3項の「基本的な使いかた」と同じです。【⇒P 4参照】

- 外線着信は、登録した電話番号の内線のみが着信します。

〔注意〕 ☆外線着信で内線電話機が応答しなかった場合、約30秒間は鳴動しますが、その後はベルは鳴りません。

この時間は、システムデータで「45秒」「60秒」に変更できます。

【⇒P 15 NO.1参照】

☆停電または本装置が故障した時は、外線1は内線1番、外線2は内線5番の電話機で発信はできますが、着信はできません。【⇒P 18参照】

6. その他の機能について

(1) 外線指定発信

■外線1で電話する時は受話器を上げて「0」、外線2で電話する時は「9」をダイヤルした後、相手の電話番号をダイヤルする方式です。
外線にNTT回線、PBXの内線、有線放送回線、専用回線等の異なった回線を収容する場合に便利です。

■設定方法は、システムスイッチSW1-1をOFFにしてください。【⇒P10参照】

(2) 保留

■外との通話を保留することができます。

●保留にする時

- ① 外と通話中にフッキングをします。
- ② 保留番号「84」をダイヤルします。
- ③ 受話器をおろします。

●お話を再開する時

- ① 受話器を上げます。
- ② 保留番号「84」をダイヤルします。
- ③ 再び、お話しできます。

(3) 内線通話

■内線同志の相互通話ができます。

- ① 受話器を上げます。
- ② 相手の内線番号をダイヤルします。
- ③ 相手が出たらお話しください。

(4) 外線1と2の着信信号識別

■外線着信時、外線1と外線2を内線電話機のベルの鳴り方で区別することができます。

■設定方法は、システムスイッチSW1-9をOFFにしてください。【⇒P10参照】

(5) 外線を1回線のみで使用するとき

■外線を1回線のみ収容する場合は、収容しない外線をメイクビジィにして、外にかける時、その回線を捕捉しないようにします。

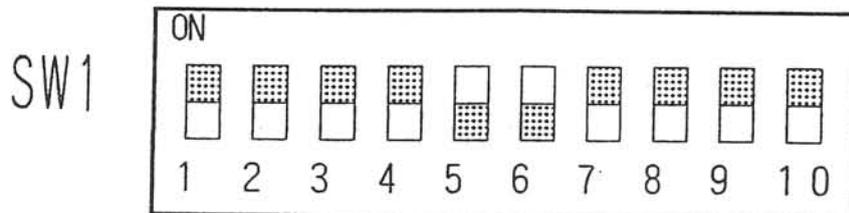
■システムデータの登録番号を下記に示します。

外線1メイクビジィ ⇨ システムデータ番号『31』

外線2メイクビジィ ⇨ システムデータ番号『33』 【⇒P15NO.4参照】

7. システムスイッチの設定方法

(1) システムスイッチ SW1 の設定

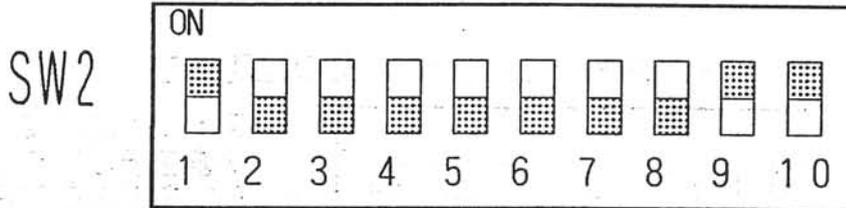


☆スイッチはお買上げの状態を示しており、5、6のみOFFで他は全てON側に設定されています。

SW	スイッチの機能	スイッチの設定
1	外線発信方式 「指定発信」にする場合は、OFFにします。 「通常発信」にする場合は、ONにします。	「通常」  ON 「指定」  OFF
2	外線のダイヤル種別 (外線 1) 「DP回線」の場合は、OFFにします。 「PB回線」の場合は、ONにします。	「PB」  「DP」 
3	外線のダイヤル種別 (外線 2) 「DP回線」の場合は、OFFにします。 「PB回線」の場合は、ONにします。	「PB」  「DP」 
4	ダイヤル速度 「10PPS」の場合は、OFFにします。 「20PPS」の場合は、ONにします。	「20」  「10」 
5	外線の着信方式 (外線 1) 「自動着信」および「ダイヤル」の場合は、OFFにします。 「通常着信」の場合は、ONにします。	「通常」  「自動」 
6	外線の着信方式 (外線 2) 「自動着信」および「ダイヤル」の場合は、OFFにします。 「通常着信」の場合は、ONにします。	「通常」  「自動」 
7	FAX接続 「FAX接続する」場合は、OFFにします。 「FAX接続しない」場合は、ONにします。	「無」  「有」 
8	ID番号設定 「#11~#88」の場合は、OFFにします。 「1#~8#」の場合は、ONにします。	「1#」  「#11」 
9	外線 1 / 2 の着信信号識別 「識別する」場合は、OFFにします。 「識別しない」場合は、ONにします。	「無」  「有」 
10	付加番号付発信 「付加番号付発信をする」場合は、OFFにします。 「付加番号付発信をしない」場合は、ONにします。	「無」  「有」 

最終ページの「お詫びと訂正」をご覧ください。

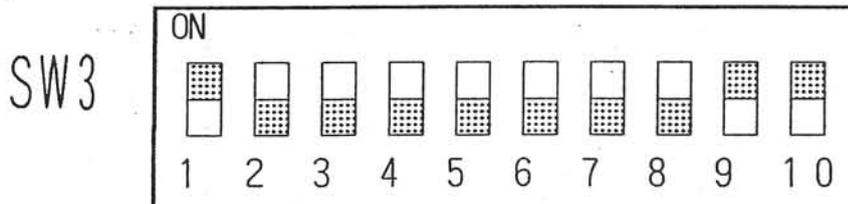
(2) システムスイッチ SW2 の設定



☆スイッチはお買上げの状態を示しており、2～8はOFFで、1、9、10はON側に設定されています。

SW	スイッチの機能	スイッチの設定
1 5 8	<u>外線1着信時内線毎に電話機のベルを鳴動させたい場合</u> 「外線1の着信時、電話機のベルを鳴動させたい」場合は内線対応のスイッチSW2-1～SW2-8をONにします。 「外線1の着信時、電話機のベルを停止したい」場合は、内線対応のスイッチSW2-1～SW2-8をOFFにします。	「鳴動」  ON 「停止」  OFF
9	<u>通話中にフッキングした時及び転送先話中時の保留自動解除</u> 「タイムアウトで話中(BT)にする」場合は、OFFにします。 「タイムアウトで自動解除する」場合は、ONにします。	「解除」  「BT」 
10	<u>通常発信時2桁迄の桁間タイマの切替</u> 「桁間を1.5秒にする」場合は、OFFにします。 「桁間を3秒にする」場合は、ONにします。	「3秒」  「1.5秒」 

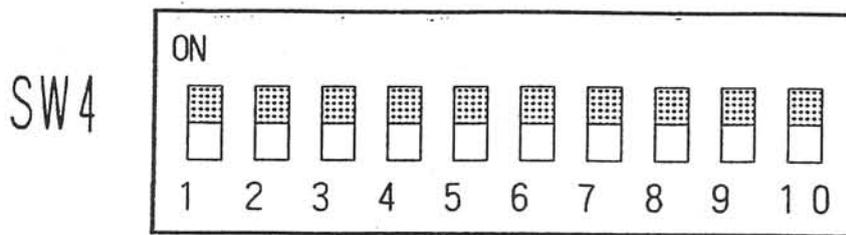
(3) システムスイッチ SW3 の設定



☆スイッチはお買上げの状態を示しており、2～8はOFFで、1、9、10はON側に設定されています。

SW	スイッチの機能	スイッチの設定
1 5 8	<u>外線2着信時内線毎に電話機のベルを鳴動させたい場合</u> 「外線2の着信時、電話機のベルを鳴動させたい」場合は内線対応のスイッチSW3-1～SW3-8をONにします。 「外線2の着信時、電話機のベルを停止したい」場合は、内線対応のスイッチSW3-1～SW3-8をOFFにします。	「鳴動」  ON 「停止」  OFF
9	<u>外線1の桁間タイマの切替</u> 「桁間を3秒にする」場合は、OFFにします。 「桁間を6秒にする」場合は、ONにします。	「6秒」  「3秒」 
10	<u>外線2の桁間タイマの切替</u> 「桁間を3秒にする」場合は、OFFにします。 「桁間を6秒にする」場合は、ONにします。	「6秒」  「3秒」 

(4) システムスイッチ SW4 の設定



☆スイッチはお買上げの状態を示しており、全てON側に設定されています。

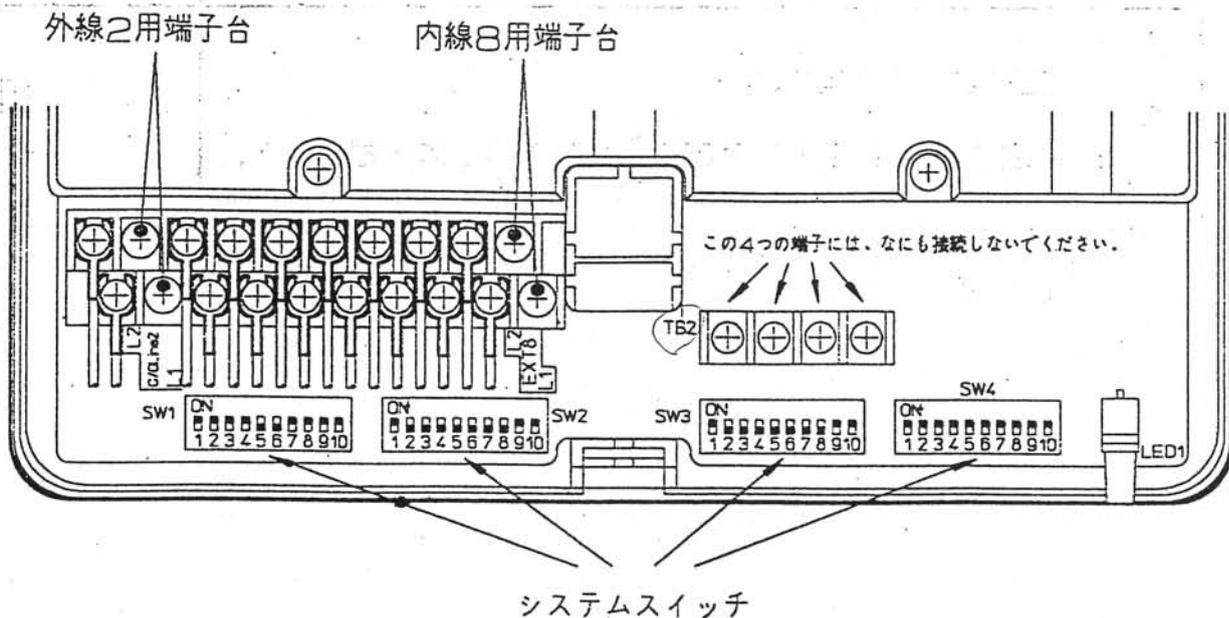
SW	スイッチの機能	スイッチの設定
1 5 8	空きです。 必ずONでお使いください。	 ON OFF
9	<u>指定発信での番号計画を変更する場合 (オプション機能)</u> 「指定発信方式に於いて、特別仕様にダイヤル番号を変更したい」場合は、OFFにします。 「ダイヤル番号を通常的一般仕様で使用する」場合は、ONにします。	「一般」  「特別」
10	<u>システムデータの登録</u> 「システムデータを登録する」時に、OFFにします。 ☆登録後は必ずONに戻してください。 【⇒P14参照】	「運用」  「登録」

最終ページの「お詫びと訂正」をご覧ください。

(5) システムスイッチと端子台の位置

■システムスイッチ (SW1~4) 及び外線1と内線8番を接続するための端子台は、前カバーを開けると下記の位置にあります。

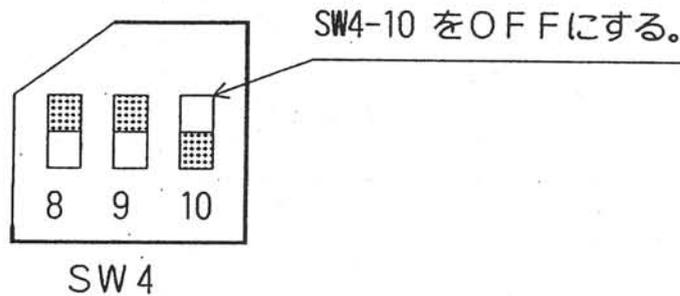
〔注意〕 ☆前カバーを開けると、『TB2』という端子台がありますが、ここにはなにも接続しないでください。



8. システムデータの登録方法

(1) 準備

- 内線2番に電話機を接続します。
- システムスイッチSW4-10をOFFにします。【⇒P12参照】



(2) 登録

- 内線2番に接続した電話機から登録します。
- 登録操作は、他の端末が使われていない時に行います。
- 登録番号は、15、16ページの表を参照してください。

1	内線2番の受話器を上げます。 「ツー…」という発信音が聞こえます。
2	「89」をダイヤルします。 約3秒後に「ブー、ブー…」という音が聞こえます。 ☆「ブー、ブー…」という話中音が聞こえた時は、他の端末が使用中です。他の端末が使われていない時に行ってください。
3	登録番号をダイヤルします。 登録されると「ブブブ」という登録音が聞こえた後、 「ブー、ブー…」という音に変わりますので、続けて次の登録をすることができます。
4	受話器をおろします。

[注意] ☆ 登録後は、システムスイッチのSW4-10を必ずONに戻してください。

☆ 全データを初期値化する時は、『*#』をPB電話機で登録してください。

(3) システムデータ一覧表

NO	機能名	初期値	登録	記事	
1	自動着信時の強制時間の変更 及び 【⇒P 5 参照】 ダイヤルサービス時の電話機呼出 時間の変更 【⇒P 8 参照】	30秒 『77』	45秒 『78』 60秒 『79』		
2	NTTダイヤルサービスの登録 【⇒P 8 参照】	外線1解除 『74』 外線2解除 『76』	外線1ダイヤル 『73』 外線2ダイヤル 『75』		
3	NTTダイヤルサービスの 番号登録 【⇒P 8 参照】 及び 自動着信時の内線 呼出番号の変更 【⇒P 6 参照】	内線1	『511#』	『51』 『 』	『 』内には、 ダイヤルサービス時 は、電話番号 の下4桁を登 録し、内線呼 出番号の変更 時は、任意の 番号を登録し てください。
		線2	『522#』	『52』 『 』	
		内線3	『533#』	『53』 『 』	
		内線4	『544#』	『54』 『 』	
		内線5	『555#』	『55』 『 』	
		内線6	『566#』	『56』 『 』	
		内線7	『577#』	『57』 『 』	
		内線8	『588#』	『58』 『 』	
4	外線のメークビジィ 【⇒P 9 参照】	外線1解除 『30』 外線2解除 『32』	外線1メークビジィ 『31』 外線2メークビジィ 『33』		
5	内線グループ分け	『34』	『35』	機能の詳細に ついては、 販売店等に お問い合わせ ください。	
6	PBX内線収容	『36』	『37』		
7	PBX内線収容時の 外線発信ポーズ	外線1解除 『004』 外線2解除 『006』	外線1登録 『005』 外線2登録 『007』		
8	内線割込通話	『38』	『39』		
9	自動着信時応答音送出種類	呼出音(RBT) 『92』	「ブ」音(IDT) 『90』 無音 『91』		

NO	機能名		初期値	登録	記事	
10	コードレスホンの 2台以上の接続	内線1 内線2 内線3 内線4 内線5 内線6 内線7 内線8 全内線	解除『40』	『41』 『42』 『43』 『44』 『45』 『46』 『47』 『48』 『49』	機能の詳細については、 販売店等にお問い合わせ ください。	
11	短縮ダイヤル 『 』内は登録した い電話番号を入れて ください。 指定発信方式の場 合は、「特番+電話 番号」を入れてくだ さい。	60 61 62 63 64 65 66 67 68 69		『60』 『 』 『61』 『 』 『62』 『 』 『63』 『 』 『64』 『 』 『65』 『 』 『66』 『 』 『67』 『 』 『68』 『 』 『69』 『 』		
12	外 線 へ の 発 信 規 制	回線	初期値	登 録		
外線1		内線1 内線2 内線3 内線4 内線5 内線6 内線7 内線8	規制無し 『110』 『120』 『130』 『140』 『150』 『160』 『170』 『180』	特甲 『111』 『121』 『131』 『141』 『151』 『161』 『171』 『181』	甲 『112』 『122』 『132』 『142』 『152』 『162』 『172』 『182』	準甲 『113』 『123』 『133』 『143』 『153』 『163』 『173』 『183』
外線2		内線1 内線2 内線3 内線4 内線5 内線6 内線7 内線8	『210』 『220』 『230』 『240』 『250』 『260』 『270』 『280』	『211』 『221』 『231』 『241』 『251』 『261』 『271』 『281』	『212』 『222』 『232』 『242』 『252』 『262』 『272』 『282』	『213』 『223』 『233』 『243』 『253』 『263』 『273』 『283』
	ダイヤル Q2 規制	内線1 内線2 内線3 内線4 内線5 内線6 内線7 内線8	外線1 『114』 『124』 『134』 『144』 『154』 『164』 『174』 『184』	外線2 『214』 『224』 『234』 『244』 『254』 『264』 『274』 『284』		
13	全データの初期値化		『* #』 全てのデータが初期値になります。			

9. 工事上の注意について

- AC100V電源を入れたまま工事配線をしないでください。
- 誤配線、ショート等がないことを確認のうえ、電源を入れてください。
- 配線工事には下記の資格が必要です。
 - 電気配線工事 「電気工事士」
 - 端子台に配線する電話工事（外線2、内線8のみ） 「電話工事担任者」

〔注意〕 ☆外線1と内線1～7はモジュラージャック方式なので資格はいりません。

- 設置場所について
 - 『TA-208』は据置（卓上）と壁掛けの2種類の設置方法があります。壁掛けの場合は、工事スペースとして上部10cm下部25cm以上の空間が必要です。
 - ケーブルを配線する場合、インターホ、放送設備などの他装置のケーブルと同じ配管に収容すると、雑音を受けたり、誤動作の原因となりますので別の配管にしてください。
 - 『TA-208』を固定する時は、壁面の強度が充分であることを確認してから取り付けてください。
 - 『TA-208』には、約2.5mの電源コードが接続されていますので、設置する場所は電源コンセントから充分届く範囲としてください。
 - 『TA-208』の近くでテレビ、ラジオなどを使用するとテレビ、ラジオに雑音が入ることがあります。『TA-208』から2m以上離し、できれば電源コンセントも別にしてください。
 - 設置場所は、「お使いになるときのご注意」（2ページ参照）に準じてください。

■ 許容配線距離

	0.4 mm 屋内線	0.5 mm 屋内線	0.65mm 屋内線	1線当 たりの抵抗	ループの 抵抗
本装置 ↔ 内線端末	135 m	210 m	350 m	20 Ω	40 Ω

10. NTTへの届け出について

- ご使用にあたりましては、NTTへの届け出が必要ですので最寄りのNTTへご連絡してください。

詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

- 本装置をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡してください。ご連絡した日をもって、「機器使用料」は不要となります。

詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

〔電話料金の内訳〕

- ① 回線使用料 ご契約者名義等により住宅用と事務用に区分され、回線使用料が異なります。
- ② 屋内配線使用料 保安器から屋内の電話機のさしこみ口までの屋内配線をNTTからレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
- ③ 機器使用料 NTTの電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
- ④ 付加機能使用料 プッシュ回線、キャッチホン、クレジット通話などをご利用いただいている場合の料金です。

1. 困ったときのチェックポイント

症 状	確 認 事 項
全部の電話機が使えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが抜けていませんか？ (『TA-208』の電源ランプが消えていませんか？)
外線発信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●他の電話、端末装置が使用中ではありませんか？ ●外線のダイヤル種別 (PB/DP) は、ありますか？ プッシュ回線⇒システムスイッチ SW1-2 ON ダイヤル回線⇒システムスイッチ SW1-2 OFF 【⇒P4、10参照】
ピンク電話機から発信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本装置には、ピンク電話機は接続できません。 (ピンク電話機が接続できる当社の『TA-103-EX』があります。販売店にお問い合わせください。)
電話機が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●初期設定では、内線1番しか鳴りません。 内線1番以外に電話機を接続した時は、 システムスイッチSW2-2~8 (外線1) システムスイッチSW3-2~8 (外線2) の該当スイッチをONにしてください。 【⇒P7、11参照】
データ端末装置 (モデム) が着信しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●内線2~8番への指定着信は、本装置が自動応答してホストからのPB信号によって着信します。 【⇒P6参照】
外から本装置に電話すると、電話機で応答する前に、課金されてしまう。 (レボカードの度数が落ちる)	<ul style="list-style-type: none"> ●本装置は自動切替装置なので、電話がかかってくると、必ず自動応答します。よって相手には、自動応答した時に課金されます。
外から本装置に電話すると、呼出音の音が途中から変わってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ●本装置は自動切替装置なので、電話がかかってくると、必ず自動応答します。そして、電話機を呼び出している時は、本装置から呼出音を出している為、NTTの呼出音とは変わってしまいます。
停電時に電話をかけることができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●内線1番でかけていますか？ その他の内線はご使用できません。 (外線2をご使用している時は、内線5番がご使用できます。)
停電時、内線1番の電話機が2回ベルが鳴っただけで停止してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ●ダイヤルレバースでのご使用ではありませんか？ ダイヤルレバースでのご使用している時は、内線1番でかけることはできますが、着信は下記の操作をしない限り受けられません。(外線2は内線5番) ①ベルが2回鳴っている間に受話器を上げる。 ②「ピポパポ」という音が聞こえるので、フッキングをすれば応答できます。 ベルが鳴り終わってから受話器を上げると、「ツー」という連続音が聞こえ応答はできません。

仕様

使用電圧	AC100V±10V(50/60Hz)
消費電力	10W(待機時)、25W(最大時)
外線数/内線数	2 / 8
接続方法	モジュラージャック(但し外線2、内線8はネジ止め端子)
配線方法	2線スター
寸法(幅×奥行×高さ)	約200×260×58mm
重量	約1.2kg
使用環境	温度:0~40℃、湿度:35~80%

添付品について

- ◆取扱説明書 1部
- ◆保証書 1部
- ◆壁掛金具 1個
- ◆壁掛用木ネジ 4本
- ◆モジュラーコード 1本

アフターサービスについて

●保証書

この商品には保証書が添付されています。必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。保証期間はお買い上げの日から1年間です。

●保証期間中に修理を依頼される時

下記の内容をお確かめのうえ、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

<ご連絡いただきたい内容>

1. ご住所、お名前、電話番号
2. 品名、お買い上げ日(保証書をご覧ください)
3. 故障内容(できるだけくわしく)

また、保証期間中のアフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げいただきました販売店にお問い合わせください。

●保証期間経過後修理を依頼される時

お買い上げいただきました販売店にご相談ください。修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。

<販売代理店> **株式会社テック**

〒141-8630

東京都品川区東五反田 2-3-5 五反田中央ビル 7F

TEL 03-5449-7810 FAX 03-5449-7034

<製造元> **株式会社高見澤電機製作所**
(TEL 045-590-1516 汎用技術部ダイヤル)

お詫びと訂正

SW1の8におけるID番号の変更方法に誤りがありました。
お詫び申し上げるとともに、下記のように訂正させていただきます。
(取扱説明書 P6, 10, 12)

☆ SW1の8においてID番号を変更する時は、SW4の8をOFFにして電源をONします。

1	1#～8# ⇔ #11～#88 への変更方法
①	TA-208-DXの電源はOFFにする。
②	SW1の8をOFFにする。
③	SW4の8をOFFにする。(ID書き替え用スイッチ)
④	TA-208-DXの電源をONにする。
⑤	SW4の8をONにする。

2	#11～#88 ⇔ 1#～8# への変更方法
①	TA-208-DXの電源はOFFにする。
②	SW1の8をONにする。
③	SW4の8をOFFにする。(ID書き替え用スイッチ)
④	TA-208-DXの電源をONにする。
⑤	SW4の8をONにする。

- 注1. 動作中はSW4の8を必ずONにします。
SW4の8をOFFのまま電源が切れますとIDが初期化してしまいます。
- 注2. ダイヤルイン番号の登録方法は、変更ありません。

{TA-208-DX}